

新総サッカー一部日誌



新座総合技術高等学校

サッカー部顧問 松村健

Vol. 2 6

2019年1月6日(月) @川越初雁高校 13:00KO

練習試合 vs 川越初雁高校

前半 0-2

後半 2-3 渡辺(情報技術科) 鎌田(電子機械科)

合計 2-5

失点につながるミスがあって、そのせいで負けたというのは簡単。誰かに敗因を押し付けることは簡単であるが、本当に見なければいけないものを見られなくなってしまふ。誰かのせい、何かのせいにした瞬間に成長は止まる。勝つ可能性は0になる。なぜそのミスが起こってしまったのかを考える必要があるし、全員がそのミスが起こらないように一人ひとりが自分にできることがなかったかを考えることが何よりも大切である。

立ち上がりの失点を防ぐために、チーム全員で声掛け、注意喚起はできていたか？確認の声はあったか？修正の確認はあったのか？失点してからでは遅い。今日がリーグ戦初戦、インターハイ、選手権の1回戦だったらどうするのか？今の新総には、一人ひとりが自分自身に矢印を向け、行動に移し、周りに行動で伝えることが必要。勝ちたいという気持ちを行動に移しチームに伝えることが必要。そうしないとこれ以上の成長は、新総サッカー一部にはない。思いを形にするためには、時間と量が必要です。やった分だけ、懸けた気持ちの分だけ必ず返ってくる。

攻撃は、もっとゴールに向かう姿勢を見せること。

2019年1月12日(日) @狭山経済高校 9:30KO

練習試合 vs 狭山経済高校

前半 0-0

後半 2-0 渡邊(総合ビジネス科) × 2

合計 2-0

狭山経済戦のテーマは守備における激しさ。1vs1の自由を奪うこと、一人ひとりがボールを奪いにいくこと。そのために、いつ距離を詰めるのか、相手の身体の向き、視線はどうかを観ることを意識して、この1週間取り組んできました。結果は、相手にほとんどシュートを打たせることなく勝つことができました。ただ、守備で激しくいくことは当たり前のようにできないといけない。このゲームでの守備の意識は最低ライン。毎試合、当たり前のように全員がやること。そのために毎回の練習でガツガツお互いにやること。

今週末より新人戦が始まります。結果につなげ、自信を得られるように選手・スタッフのチーム全員で戦います。応援の程、宜しくお願い致します。

2020年1月18日(土) vs 鶴ヶ島清風高校 12:00KO

2020年1月19日(日) vs 埼玉平成高校 10:00KO

